

1 単元名 ネット型ボールゲーム テニピン

2 単元の目標

- (1) ラリーをつなげたり、ねらったところにコントロールをしたりするコツを理解し、テニスを簡易化されたゲームをすることができるようにする。 (知識及び技能)
- (2) ルールを工夫したり、自分たちにあった作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力・判断力・表現力等)
- (3) ルールを守り、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

3 基盤

(教材について)

「テニピン」は、「ネット型ゲーム」の中で、道具を介してボールを打つ前段階として手に道具をつけてボールをはじくやさしいゲーム(テニス型ピンポンゲーム)である。ペアの二人で交互に打つことによって、個が輝ける場を確実に設けることができる。手にはめるラケットの使用によって、素手に近い感覚で操作することができる。このことで比較的容易にラリーを続けたり、ゲームを楽しんだりすることができる教材である。

(児童について)

3・4年児童は、運動好きな児童が多いが、運動技能の面では個々に差がみられる。ルールを守り、みんなと教え合いながら高め合う姿勢が見られるが、ボールを打ち返すことに難しさを感じる児童が数名いる。これは、今回の教材のような小さいボールを扱う経験があまりないからだと考えられる。

(指導にあたって)

3・4年生の段階では、相手チームから得点を取るようなゲームではなく、まずはラリーを続けることの楽しさを味わわせることをねらいとする。単元の前半はボールを打つことに慣れるように、後半はラリーを続けるにはどのような工夫が必要かを考えながらチャレンジできるように単元計画を構成する。また、苦手意識のある児童については、スキルアップタイムを設けることで、基礎技能が高まるようにする。

4 単元計画(全7時間)

- ① 学習の進め方を知り、見通しをもつ。
- ② 課題の設定をする。ボールとラケットに慣れる。
- ③ ラリーを長く続けるためにはどうすればよいかを考え、練習したりゲームをしたりする。
- ④ 相手が打ちやすいボールについて考え、練習したりゲームをしたりする。
- ⑤ ねらったところにボールを打つための打ち方を考え、練習したりゲームをしたりする。
- ⑥ ボールを打ち返しやすくするためには、どのように動けばよいかを考え、練習したりゲームをしたりする。(本時)
- ⑦ 練習してきたことを活かして、ラリーの記録会をする。

5 授業の実際

1. 5種目歩走をする。
スキルアップタイムをする。(ボールをキャッチしやすいところに動く練習)
○「スキルアップタイム」の導入によって、打ちやすい場所へ移動することやねらった場所に返球することなどの基礎技能を高めることができた。(視点②)
2. 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。
長くラリーを続けるためには、どのように動けばよいかを考えよう。
3. 各チームで作戦を立て、ゲームをする。(1回目)
○タブレット端末内の作戦ボードを活用することで、具体的な動き方についてチームそれぞれに対話することができていた。(視点③)
○見ていた子どもがゲームが終わった直後にアドバイスをすることによって、自他の課題や変容を捉えやすい授業構成になっていた。(視点②)



4. 1回目のゲームを通して、各チームの取組を紹介し合い、共有する。
5. ゲームをする。(2回目)
6. 振り返りをする。

6 成果と課題

【視点①】

なりたい姿をイメージし、自他の課題や変容の自覚を促す「単元構成と授業構成」の追求

- 単元の帯で行う「スキルアップタイム」は、毎回継続することによって、「テニピン」につながる基礎感覚や基礎技能を養うことにつながった。

【視点②】

なりたい姿に向かう「基礎感覚・基礎技能を高めていくための手立て」の追求

- 子どもたちがお互いに良かった点や良くなかった点をアドバイスし合うことで、課題を見つけたり、上手になったことを実感したりすることにつながった。

【視点③】

なりたい姿に近づくための「主体的・対話的で深い学び」の追求

- タブレット端末の作戦ボードに、動き方や打ち方の工夫を絵や言葉で書き込み、チームで共有することで、多くの子どもが共通のイメージをもって体を動かすことができていた。

【課題】

- 振り返り用のワークシートを用意していなかったため、個別の評価が難しかった。子どもたちが何を学び、どう成長したのかを把握するためにも、ワークシートが必要であると感じた。
- ラリーゲームだけでなく、上達してきた子どもは得点ゲームに移行するなど、技能に応じた学習指導を今後は心がけていきたい。